



西日本最高峰 石鎚山

観光の現状と

観光振興策は？

(リベラル西条)

問

市内には西日本最高峰の石鎚山、うちぬき、夏・秋祭り、ぼたんやふじの名所、四国八十八か所の札所をはじめとする多くの由緒あるお寺や神社、工場見学などの事業所や、他にも多くの観光資源がある。しかしながら、観光産業としてはまだまだ発展の余地があると思つが、西条市の観光の現状と観光振興策について問う。

答

平成21年に市内に訪れた観光客数は約396万人で過去5年間ほぼ横ばい状態にある。市内には魅力的な観光資源が多く存在し、それぞれに観光客が訪れているものの、他の観光地を訪れる途中で立ち寄る通過型の観光客が多いと認識しており、観光客の滞在時間をいかにして延ばすかが課題である。

そのためには、市内を巡る周遊ルートの創出が有効な手段の一つと考えており、アクアトピアを中心とした、うちぬきや史跡をめぐる水めぐりルート、石鎚山系をめぐるエコツアールートを設定し、観光協会や石鎚ふれあいの里でツアーが実施されている。

今後は、これらのルートや既存の観光施設を活用し、豊かな自然、史跡、産業施設、観光農園などのネットワーク化を図るとともに、テーマ性のある新しい周遊ルートの創出に努め、観光客の滞在時間の増大に向けた取組を図っていきたい。



郷土の歴史を伝承

天正の陣

(市民クラブ)

問

天正の陣は、今から425年前の一五八五年(天正13年)全国統一を目指す豊臣秀吉の命を受けた毛利軍の小早川隆景の率いる3万の軍勢が、地元勢力を圧倒的な戦力で制圧した戦いである。

この天正の陣について、郷土の歴史として伝承し、その史跡や文化財を保存していくことについて、どのように考えているのか。

答

天正の陣は、本市においては大規模で歴史的な戦いであつたと認識している。天正の陣に関する伝承についての市の取組は、公民館主催の事業の中で、郷土史会会員を講師とした関係史跡めぐりや、考古歴史館で天正の陣の企画展を開催している。

また、今年9月には本市郷土博物館で行う郷土史講座でも天正の陣を題材として取り上げる予定としており、今後も、これらの取組を充実させていきたい。



高尾城跡

また、天正の陣に関する史跡に関しては、氷見地区において山城である高尾城跡などもあり、今後は、地域の皆さんや郷土史家などの意見を聞きながら説明板の設置や史跡の整備などについて検討していきたい。

どう取り組む？

自殺予防対策とうつ病対策

(公明党西条市議団)

問

12年連続で年間自殺者が3万人を超えている状況において、本市における自殺予防・防止への環境づくり、相談窓口体制の強化及び予防への普及啓発の取組を問う。また、自殺原因の1因とされるうつ病対策の取組を問う。

答

現在、本市では、本人や家族が気軽に相談できるよう、各保健センターに相談窓口を設置し、西条保健所とも連携をとりながら対応をしている。今後は、地域の中でより連携を深めていけるよう、民生委員や健康づくり推進委員などを中心とした体制づくりも検討していく必要があると考えている。

さらに、県が作成した相談窓口紹介冊子を市民に配布しているほか、今後は各種団体を対象とした講習会の実施により、予防へのさらなる普及啓発に取り組んでいきたい。

支援員などの養成については、これまで各地区の健康づくり推進員活動の中で、相談員の養成を図ってきたところであるが、より専門的な支援を目指し、医師、保健師、看護師、介護職員などを対象として人材育成を図っていきたい。

また、うつ病対策として、現時点で保健所と連携した窓口で相談事業を中心に行っているが、症状が表面化しない潜在的な患者も相当数存在すると言われているので、検診や相談などの機会をとらえ、うつ病の早期発見、早期対応に努めていきたい。